



# 神奈川

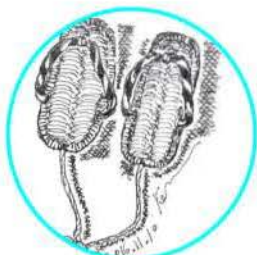
神奈川県支部  
ブログのQRコード



発行日 2023年5月1日

題字：奥津 穂豊 [繁] (S44 国文)

【新山下運河】  
画：原崎 久人 (S 50 建築)



～2023年度支部総会について～

期日 2023年6月17日(土) 13:00～  
会場 横浜桜木町ワシントンホテル  
JR桜木町駅(南改札東口) 徒歩2分





## 目次

支部長挨拶	2
2022年度支部総会報告	3
2022年度基本方針・重点活動目標・支部役員等	3
2021年度収支計算書／2022年度収支計算書	4
2023年度収支予算書	5
事業計画（2023/4～2024/3）	5
神田会長メッセージ	6
浦水OB会昨年の振り返り	7
浦水会神奈川県支部総会に参加して	7
ランチピュッフェと晩学のススメ	8
藤井良晃相談役を偲ぶ	9～10
神泉会だより（ヨコハマタウンウォッチング）	11
黒浜貝塚見学会・ボクシング部応援	12～13
琉球人形のまなざし	14
他支部紹介／埼玉県東部支部・福島県支部	15
支部会報バックナンバー	16
令和5年友好3団体有志新年会	17
活躍する先輩・塩川一美さん	18～19
編集後記、手軽につながろう東洋大学と校友会	20

## 支部長挨拶



櫻井 裕子  
(S49 短観光)

東洋大学校友会神奈川県支部会員の皆さまには、日頃より支部活動にご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

3年間にも及ぶ新型コロナウイルスの影響で様々な制約を受けながらも、昨年は支部役員が知恵を集結し、コロナ禍でも出来る活動運営を模索し事業継承に務めました。それと同時に、ウクライナ情勢に伴う原油や食料価格の高騰など、私たちの日々の生活にも大きな打撃を与え不安感が増しています。

このような厳しい状況の中で開催された年明けの箱根駅伝は、個々のパワーとチーム力が結束し数々の巻き起こるドラマ展開に、ウィズコロナで鬱積したストレスが発散し爽快な気分になさしてくれました。新型コロナウイルスの発生以降、支部の事業活動も縮小されましたが、ゴールデンウィーク明けには「5類」に移行され、イベントなどの取り巻く環境も明るい兆しが見えてきました。

私たちはコロナウイルスという世界的な脅威を経験し、何気ない当たり前の日常の大切さを再認識いたしました。

今、アフターコロナ時代を迎え、様々な分野で変化や改革が求められています。校友会神奈川県支部も歴史ある伝統を継承し、新しい時代に相応しい改革を進め、次世代へ繋ぐ事業運営を目指します。

引き続きご支援をいただきますようお願い申し上げます。

# 東洋大学校友会神奈川県支部 2022年度支部総会報告



事務局長

宮崎 縣  
(S52 中哲)

東洋大学校友会神奈川県支部は、2022年6月18日(土) 13時15分から、横浜桜木町ワシントンホテルで2022年度総会を開催しました。

会員18名、来賓3名(浦水会1名、浦水OB会2名)の計21名が出席しました。一昨年・昨年と同様に、出席者各位の安全を第一に極力少人数で簡素な総会としました(恒例の講演会・懇親会・アトラクションはすべて中止)。

冒頭、司会進行の浅野理事の開会の挨拶、大学校歌斉唱、物故者黙祷を行いました。

櫻井支部長挨拶、来賓挨拶、会務報告に続いて、議長に櫻井支部長を選出し議案の審議に入りました。

まずは、2021年度事業・決算・監査の報告事項を承認してから、2022年度基本方針・重点活動目標・事業計画・予算を決定しました。

規約改正と役員体制についても満場一致で確認決定しました。

2021年度もコロナ禍が影響し、やむなく中止や順延になった事業もありましたが、諸会議を堅実に開催するとともに、浦水会および浦水OB会や神泉会との連携による行事・催事にも参加できました。

支部だより(会報)の充実や確実な配布が進み、川越キャンパス取材と赤羽台キャンパス訪問にもとりくみました。支部会報は50号記念にふさわしい刊行をめざし、毎月1回編集会議を開くなかで、企画・取材・編集作業にとりくみました。

また、長年にわたり神奈川県支部事務局長として、貢献ご活躍された関口俊一氏に、櫻井支部長から感謝状と謝礼が手渡され、出席者全員で謝意をお礼を申し上げます。

最後に、閉会挨拶のあと、集合写真を撮影して散会しました。

東洋大学校友会神奈川県支部は、親睦と交流を深めるとともに、これからもチームワークを発揮し、東洋大学および学生の応援組織として前進していきましょう。

1月15日、当支部の礎を作っていたいただいた相談役の藤井良晃様をご逝去されました。ご生前のご厚情に深く感謝するとともに、故人のご功績を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

## 2022年度校友会神奈川県支部 基本方針・重点活動目標

### 1. 基本方針

「東洋大学の建学の精神を顕現し、会員相互の親睦を図り、母校及び校友会の興隆発展に寄与する」ため、健全な活動運営を行うことを基本方針とする

### 2. 重点活動目標

- ①支部組織強化と充実を目的とした運営に取り組み、友好団体との連携を深め、支部・地区活動の活性化を図る
- ②幅広い世代の校友が興味を持ち、参加しやすい活動の向上を目指し複合型組織づくりを積極的に進める
- ③ZOOMなど、オンラインシステムを活用し、会員相互のコミュニケーションの活性化と若年層の参加し易いIT化の推進を図る

### 3. 事業計画

- ①新型コロナウイルス感染症の収束見通しが依然として不透明な中、校友会の活性化に向けての校友との繋がりや伝統の維持に務める
- ②コロナ禍で自粛せざるを得ない事業、実施可能な事業を峻別し、会員同士及び3友好団体相互のコミュニケーションをより親密に、より高め合える新しい時代に適応した支部活動に邁進する
- ③会員の健康と安全を考慮した会議(総会・理事会等)の運営に心がける

## 2022～2023年度 支部役員

2022～2023年度 支部役員等			
役員(役職)	名前	卒年	学科
大学理事	渋谷 哲一	S44	経済
大学評議員	吉田由多可	S52	土木工
特別相談役	藤井 良晃	S25	国文
相談役	林 勇	S26	社会
相談役	高橋 保一	S40	法律
支部長	櫻井 裕子	S49	短観光
副支部長	関 輝武	S43	機械工
副支部長	河野 洋	S43	建築
副支部長	原崎 久人	S50	建築
副支部長	田中 茂	S49	経済
監事	高原 正人	S40	経済
監事	平山 豊雄	S46	法律
事務局長	宮崎 縣	S52	中哲
理事	浅野 正毅	S41	土木工
理事	井上 博文	S38	応社
理事	扇谷 隆雄	S42	応社
理事	大場 ひとみ	S57	応社
理事	近藤 正	S44	社会
理事	塩川 一美	S42	法律
理事	城野 則重	S49	英米文
理事	関口 俊一	S36	法律
理事	関根 素子	S44	短観光
理事	塚田 準治	H22	観光修
理事	美尾 文明	S47	建築
理事	山崎 善明	S53	応社
理事	結城 正	S38	法律
理事	与儀 喜克	S42	経済

## 2021年度 収支計算書

自:2021年4月1日～至:2022年3月31日

### 【収入の部】

単位:円

科目		予算額	決算額	増減
本部交付金	年会費交付金	250,000	192,000	58,000
	終身会員交付金	190,000	177,000	13,000
	新卒者納入会費	4,000	8,000	-4,000
	支部総会祝金	0	0	0
	支部事務費補助	20,000	20,000	0
	支部会報発行助成	50,000	50,000	0
	ホームページ助成	10,000	10,000	0
	総会特別企画補助	30,000	0	30,000
	女性参加促進助成	10,000	10,000	0
	各種支部企画助成	40,000		40,000
	支部総会通信費	0	-7,753	7,753
	小計①	604,000	459,247	144,753
	支部内収入	支部総会参加費	300,000	25,000
支部会費		100,000	0	100,000
寄付金		0	0	0
預金利息		0	3	-3
雑収入		0	0	0
広告費		40,000	24,000	16,000
				0
小計②		440,000	49,003	390,997
収入合計③=①+②	1,044,000	508,250	535,750	

### 【支出の部】

単位:円

科目		予算額	決算額	増減
支部内経費支出	支部総会関連費	360,000	27,248	332,752
	支部会報作成費	170,000	125,640	44,360
	支部活動費	50,000	73,015	-23,015
	地区活動費	20,000	0	20,000
	会議費	50,000	26,734	23,266
	通信費	30,000	7,513	22,487
	印刷費	10,000	7,855	2,145
	事務用消耗品	20,000	26,951	-6,951
	旅費交通費	100,000	68,630	31,370
	慶弔費	20,000	0	20,000
	渉外費	150,000	24,600	125,400
	雑支出	34,000	31,136	2,864
	講師派遣費	30,000	0	30,000
	積立金	0		0
	手数料	0		0
	予備費	0		0
	支出計④	1,044,000	419,322	624,678
	当期収支差額⑤=③-④	0	88,928	-88,928
前期繰越収支差額⑥	324,849	324,849	0	
次期繰越収支差額⑦=⑤+⑥	324,849	413,777	-88,928	

## 2022年度 収支計算書

自:2022年4月1日～至:2023年3月31日

### 【収入の部】

単位:円

科目		予算額	決算額	増減	
本部交付金	年会費交付金収入	250,000	157,000	93,000	
	終身会費交付金収入	190,000	173,000	17,000	
	新卒者納入会費	4,000	8,000	-4,000	
	支部総会祝金収入	0	0	0	
	支部事務費補助収入	20,000	20,000	0	
	支部会報発行助成収入	50,000	50,000	0	
	ホームページ助成収入	10,000	10,000	0	
	総会特別企画補助収入	30,000	0	30,000	
	女性参加促進助成収入	10,000	10,000	0	
	各種支部企画補助収入	40,000	0	40,000	
	支部総会通信費収入	0	-2,844	2,844	
	小計①	604,000	425,156	178,844	
	支部内収入	支部総会参加費収入	300,000	21,000	279,000
		支部会費収入	100,000	20,000	80,000
寄付金収入		0	0	0	
預金利息収入		0	4	-4	
雑収入		0	46,426	-46,426	
広告料収入		40,000	18,000	22,000	
ランチビュフェ		0	72,000	-72,000	
小計②	440,000	177,430	262,570		
収入計③=①+②	1,044,000	602,586	441,414		

### 【支出の部】

単位:円

科目		予算額	決算額	増減
支部内経費支出	支部総会関連費支出	360,000	42,546	317,454
	支部会報作成費支出	170,000	71,090	98,910
	支部活動費支出	50,000	186,765	-136,765
	地区活動費支出	20,000	0	20,000
	会議費支出	50,000	50,322	-322
	通信費支出	30,000	7,367	22,633
	印刷費支出	10,000	16,551	-6,551
	事務用消耗品費支出	20,000	9,931	10,069
	旅費交通費支出	100,000	77,264	22,736
	慶弔費支出	20,000	12,719	7,281
	渉外費支出	150,000	12,160	137,840
	雑支出	34,000	5,844	28,156
	講師派遣費	30,000	0	30,000
	予備費支出	0		0
支出計④	1,044,000	492,559	551,441	
当期収支差額⑤=③-④	0	110,027	-110,027	
前期繰越収支差額⑥	413,777	413,777	0	
次期繰越収支差額⑦=⑤+⑥	413,777	523,804	-110,027	

## 2023年度 収支予算書(案)

自:2023年4月1日~至:2024年3月31日

## 【収入の部】

科目	2023年度	2022年度		
	予算案	予算額	決算額	
本部交付金	年会費交付金収入	250,000	250,000	157,000
	終身会費交付金収入	190,000	190,000	173,000
	新卒者納入会費	4,000	4,000	8,000
	支部総会祝金収入	0	0	0
	支部事務費補助収入	20,000	20,000	20,000
	支部会報発行助成収入	50,000	50,000	50,000
	ホームページ助成収入	10,000	10,000	10,000
	総会特別企画補助収入	30,000	30,000	0
	女性参加促進助成収入	10,000	10,000	10,000
	各種支部企画補助収入	40,000	40,000	0
	支部総会通信費収入	0	0	-2,844
	小計①	604,000	604,000	425,156
	支部内収入	支部総会参加費収入	300,000	300,000
支部会費収入		100,000	100,000	20,000
寄付金収入		0	0	0
預金利息収入		0	0	4
雑収入		0	0	46,426
広告料収入		40,000	40,000	18,000
ランチビュッフェ会費		0	0	72,000
小計②		440,000	440,000	177,430
収入計③=①+②	1,044,000	1,044,000	602,586	

## 【支出の部】

科目	2023年度	2022年度		
	予算案(イ)	予算額(ロ)	決算額	
支部内経費支出	支部総会関連費支出	360,000	360,000	42,546
	支部会報作成費支出	170,000	170,000	71,090
	支部活動費支出	50,000	50,000	186,765
	地区活動費支出	20,000	20,000	0
	会議費支出	50,000	50,000	50,322
	通信費支出	30,000	30,000	7,367
	印刷費支出	10,000	10,000	16,551
	事務用消耗品費支出	20,000	20,000	9,931
	旅費交通費支出	100,000	100,000	77,264
	慶弔費支出	20,000	20,000	12,719
	渉外費支出	150,000	150,000	12,160
	雑支出	34,000	34,000	5,844
	講師派遣費	30,000	30,000	0
	予備費支出			
支出計④	1,044,000	1,044,000	492,559	
当期収支差額⑤=③-④	0	0	110,027	
前期繰越収支差額⑥		413,777	413,777	
次期繰越収支差額⑦=⑤+⑥	0	413,777	523,804	

支部総会(6月17日)  
ランチビュッフェとトークショー(未定)  
第17回ヨコハマタウンウォッチング(9月30日)  
赤羽キャンパス訪問(9月~10月予定)  
箱根駅伝応援新年会(1月3日/横浜会場)  
みかん狩り(2024年2月予定/国府津方面)  
三田めぐり(2024年3月予定)  
主な事業計画、以上を予定しています。  
その中で、次の計画の考え方を紹介します。

赤羽台キャンパス訪問については、コロナ禍のなかで東洋大学卒業生支援室等とご相談しながら、その機会を調整してきたところです。

2023年4月から、各施設の完成、学生の受入れなど、赤羽台キャンパスは新たなスタートとなりました。

これらをふまえ、有効団体様への呼びかけを含め、夏休みを終えた頃に赤羽台キャンパス訪問を企画しています。



三田めぐりについては、明治維新の原風景と福沢諭吉、そして桜を見ながらのランチを予定しています。

JR田町駅に集合し、西郷隆盛・勝海舟会見の地~芝浜~慶応仲通り~慶応大学~福沢諭吉像、終焉の地~11:30ランチ~13:00イタリア大使館~三井倶楽部~オーストラリア大使館~14:00聖坂~三田御所~15:00泉岳寺~16:00高輪ゲートウェイ駅(解散)~17:00横浜で懇親会という内容です。

47年港区芝に勤務していた案内者は、最近、福沢諭吉著「福翁自伝」と「福翁百話」を読み終えました。歴史解説からラーメン二郎本店物語まで、慶応大学周辺を楽しくご案内いたします。



# 「神奈川県支部会報 50号によせて」

(一社) 東洋大学校友会 会長 神田 雄一



神奈川県支部の皆様には、日頃より校友会活動にご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

この度は神奈川県支部会報50号の記念号発刊とのこと誠におめでとうございます。

櫻井支部長をはじめとするスタッフの皆様、更に今まで会報の発刊にご尽力いただいた先輩諸氏に敬意を評します

と共に心より御礼申し上げます。

もとより会報は校友の皆様方のコミュニケーションの媒体として、また多様な情報を共有するツールとして大きな役割を担っております。先の見えない不透明感の漂うこのような時こそ新しい時代に対応し、多様性を重んじた持続可能な会報として神奈川県支部会報が組織文化を象徴する広報の媒体としての役割を担っていただきたく存じます。

お陰様で大学との信頼関係も深まり、連携協力の包括協定締結や卒業生情報の共有など新たな進展が図られております。校友会では引き続き、校友会費の代理収納の復活、校友相互のコミュニケーションの更なる進展のためにICT化の推進を図ると共に建設的で明るい校友会文化の醸成に注力してまいります。

2023年の干支は「癸卯（みずのと・う）」で、次の新しい生命が生きづく状態を意味しているとのこと、うさぎのように跳ね上がり、とても縁起の良い年と言われております。まさに神奈川県支部会報が更に飛躍し、ますます充実した会報として校友の皆様方に楽しんでいただけますよう祈念致しております。校友の皆様には引き続き校友会の活性化と改革にご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## For Kanagawa Branch Bulletin No. 50

I would like to thank everyone at the Kanagawa Chapter for their understanding and support for the activities of the Alumni Association. Congratulations on the publication of the 50th anniversary issue of the branch bulletin.

The newsletter plays a major role as a communication medium for alumni and as a tool for sharing a wide variety of information. I hope that you will continue to play a role as a sustainable bulletin.

Thanks to you, our relationship of trust with the university has deepened, and new progress has been made, such as the conclusion of comprehensive agreements on cooperation and the sharing of alumni information.

The Alumni Association will continue to promote the use of ICT in order to revive the proxy collection of alumni membership fees and further develop communication between alumni, while also focusing on fostering a constructive and cheerful alumni association culture.

The year 2023 is said to be a very auspicious year as the Chinese zodiac sign jumps like a rabbit. I sincerely hope that the Kanagawa Branch Bulletin will make even greater strides forward and that all alumni will enjoy it as an even more fulfilling bulletin. I would like to ask all alumni for their continued understanding and support for the revitalization and reform of the Alumni Association.

Alumni Association President Yuichi Kanda



一級建築士事務所 アクシスプランニング  
AXIS PLANNING

原崎 久人 (S50 建築)

〒231-0048  
横浜市中区蓬莱町3-104-4-803  
TEL 050-3707-2620  
FAX 045-262-8761 E-mail harasaki@ya2.so-net.ne.jp



精密機械部品を製作しており、大型部品を得意とし1個から製作致します  
機械装置の製作、現地作業での部品交換、オーバーホールや生産ライン設備の改造、保全業務なども御相談下さい

有限会社 関鉄工所  
代表取締役会長 関 輝武  
(昭和43年機械工卒)

〒143-0015 東京都大田区大森西4-17-27  
TEL. 03-3761-3167 FAX. 03-3761-4826  
email : e.seki@gol.com

下町ボブスレー用部品も製作

## 甬水OB会昨年の振り返り 東洋大学甬水会 神奈川県支部OB会 会長 鈴木 良夫

東洋大学校友会神奈川県支部の皆様には日頃より甬水会神奈川県支部OB会の活動にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

振り返りますれば令和4年は3年の長きにわたり新型コロナウイルス禍に見舞われ、振り回された一年でした。甬水OB会の活動の始めである1月2日、3日の箱根駅伝では応援自粛のご指示により、例年行われていた横浜陽軒での校友会、甬水会、甬水OB会友好3団体での応援が出来なくなり有志のみ集合し、静かな箱根駅伝応援となってしまいました。しかし、我が東洋大学は底力を発揮し、総合4位という立派な成績を残してくれました。幸先の良い一年の始まりでしたが、春の散策は3年連続で中止となってしまいました。

そして9月11日に戸塚地区センターにて甬水OB会総会では人数を制限いたしまして辛うじて開催しましたが、新型コロナウイルス禍の中、校友会、甬水会の皆様を来賓としてお招きできなかった事は誠に残念至極であります。



その後の「秋の集い」は昨年に引き続き11月13日に「古都鎌倉歴史探訪」と銘打ちましてNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」ゆかりの場所巡りを実施する運びとなりました。その際には校友会神奈川県支部の皆様が多数参加していただき、その後の懇親会も大変盛り上がり有意義で楽しい時間を過ごすことができました。そして11月19日に校友会神奈川県支部様主催の「ホテルランチ」と東洋大学OBの根本文子様による「晩学のすすめ」の講演会に参加をいたしました。

講演者の根本様、学問を始めるのに年齢制限などないと言うお話に大変感動いたしました。令和5年、今年こそ新型コロナを克服し、以前のように校友会の皆様、甬水会の皆様の行事に参加できますように心より祈っております。今後とも甬水OB会にご支援、ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

## 甬水会神奈川県支部総会に参加して

7月9日、東洋大学甬水会神奈川県支部総会に、櫻井支部長以下4名と一緒に来賓として参加させていただきました。総会では、加藤支部長挨拶、東洋大学校友会神奈川県支部と甬水OB会が来賓の挨拶のあと、議事が審議決定されました。



総会後の講演会では、遠く九州は福岡からお越しの九州産業大学国際文化部・酒井順一郎教授が、「ロック魂」で迫力ある楽しいお話をお聴きしました。

第二部では、新春気鋭のジャグパフォーマー甲良さんに、見ている人たちをハラハラさせるような至難の業を見せていただきました。



今回、私は初めて参加させていただきましたが、校友会の各種イベントについて、反省すべきことや、もっと改善すべき点を含め、たくさん学ばせていただきました。

今後とも緊張感をもって、友好関係維持に尽力していきたいと思いました。

(宮崎 S52 中哲)

神社奉納、学校公演、イベント出演、宴会や結婚式の余興、撮影被写体、講座やワークショップ、教室運営など、各種ご依頼承ります。

神楽・獅子舞のことならお任せください。

厚木市無形民俗文化財指定  
相模里神楽 垣澤社中

〒243-0022 厚木市酒井2570-1  
TEL・FAX 046-229-0485  
公式HP <https://www.sagami-satokagura.com/>  
E-mail [sagami.satokagura@gmail.com](mailto:sagami.satokagura@gmail.com) 堀川一美(S42 法律卒)



東洋大学校友会神奈川県支部は、11月19日（土）12時から、窓の外にはロープウェイ、観覧車、横浜市役所を眺めながら、桜木町ワシントンホテル5階で「ホテルランチ」と「晩学のススメ」を開催し、総勢26名が参加しました。

浅野理事の司会進行で会がスタートし、甬水会および甬水OB会の来賓を紹介、その後、櫻井裕子支部長から挨拶をいただきました。

宮崎事務局長の講演者紹介を受け、根本文子（ねもとあやこ）さんを迎え「徹子の部屋」様式で「裕子（ひろこ）の部屋」対談に入りました。

根本文子さんは、矢口東洋大学学長が提唱する〈リカレント教育（学び直し）〉の先駆的な実践者です。



俳句をたしなんでいた両親、自らの幼少期の思い出、高校卒業後から仙台で働き一つ年下の弟の大学進学から卒業まで同居しながら全面的に支援、子育て（お子様3人の4年生大学卒業まで）、そのあと末子に背中を押され晩学をめざすまでのお話、私たちは静かに耳を傾けました。

本題で、正岡子規は「膨大な言葉の収集家、かつ多くの言葉を創り出した人」であり、後世に至るまで影響を及ぼしていること。

また、夏目漱石、森鷗外、高浜虚子をはじめとする文学者、俳人たちとの幅広い交流を通じた「日本のルネサンス」を死の間際まで願っていたこと。

それまでの宗匠俳諧や点取り俳諧として娯楽に傾く傾向のあった俳句について、松尾芭蕉さえも批判し、卑俗陳腐と言いつちながらも、改めて松尾芭蕉、与謝蕪村などを再定義したこと。

そして、根本さんは自著の中で「正岡子規を支え、世につなげた人物は中川四明である」と考え、丹念に資料を収集・整理し、貴重な著作を発表されました。まさに、「中川四明なしに正岡子規はあらず」という真実を発掘されたのです。

これらのお話が、「裕子の部屋」で分かりやすく、和やかに語られました。



対談を終え参加者一同から、根本さんの「第36回俳人協会評論賞」受賞へのお祝いとして、花束を贈呈いたしました。最後に、根本文子さんを中心に集合写真を撮って散会しました。

ランチを挟み、参加者の中から「私は根本さんと同じ年齢、同じ人間、同じ人生ですが、こうも違うとは？お恥ずかしい限りです」「七五調は現代のSNS文化にマッチしていると聞いていたので、講演をお聴きし俳句に興味を持ちました」「ちょうどNHK〈歴史探偵／正岡子規〉を見ていたので、さらに理解が深まりました」「30数年という短い人生、病臥の日々でも正岡子規は常に前向きであったことや、平気で死ぬことよりも平気で生きることを大切にされた生き方に感銘を受けました」など、たくさんの感想をいただきました。

若い世代は、メールやラインでも長い文章を書かないようです。また、文字数制限のあるツイッターの利用によって、短文で言いたいことや感じたことを表現する技術が磨かれています。

さらに、TikTokでは短い動画と短い文章が重なるようにして、同時に流れています。

そんな時代背景もあり、若者たちの間で短歌や俳句、川柳が流行っているとのこと。つまり、源氏物語の時代は文（ふみ）に和歌を添えていたのですが、今はSNSで七五調の短歌が多く用いられているのです。面白いなあ、と思いました。

（宮崎 S52 中哲）



# 藤井良晃相談役を偲ぶ



左から関口理事、藤井住職、櫻井支部長

今年の1月14日、東洋大学校友会の元副会長で、校友会神奈川県支部では相談役の藤井良晃さんのご自宅を3人で訪問してきました。

目的は、支部だよりのバックナンバーを探すことです。ご子息の宝寿院（桜観音）藤井宏映住職にお手数をおかけしましたが、目的の物はありませんでした。

しかし、私たちの依頼を受け、藤井住職は改めて父親が残した多くの資料を精査する中で、父親と向き合うことができたそうです。そして、子どもなりに父親から聞かされたことを淡々と話し出しました。

まずは、お寺は仏教受難時代（明治維新の廃仏毀釈）を乗り越えてきました。けれども、戦後になると、昭和の農地開放によって、先代から受け継いだ田畑は取り上げられてしまいました。しかし、お寺所有の山は残ったので、冬でも熱海近くは暖かいから、そこをみかん山にしました。さらに、福祉関係の事業を手がけるなど、経営手腕にも秀でていました。

私は、藤井相談役と会ったことはありませんでしたが、ご子息のお話を伺った上に、帰りにはおみやげとして、ネーブルとハッサクを紙袋いっぱいいただきました。

帰宅してすぐ、ネーブルを四つ割りにして、皮から前歯でそぎ落とすようにして二つを、溢れ出る果汁に難渋しながら食べました。次の日は三つ、あつという間に自分の体内へ放り込みました。

ハッサクは少し間をおいてから、と言われていたのですが、待ちきれず、「この酸味、冬の太陽の味だなあ」とつぶやきながら、あんなにたくさんいただいたのに、すべて平らげてしまいました。

何ということなのでしょう！私たちが訪問した翌日、

入院中の藤井良晃相談役はご逝去されました。

改めて、故人のご冥福をお祈りいたします。

そして2月半ば、私は偶然のことなのですが、本棚にあった東洋大学校友会120周年記念誌『東洋の軌跡～世紀をこえて～』を手に取りました。



清榮山花藏院第三十世権大僧正藤井良晃和尚  
深澤山宝寿院第二十二世（宝寿院前住職）

なんと、その「わが母校への思い」57～59ページに「戦中・戦後を過ごした特異な学生時代の思い出」と題する藤井良晃様の寄稿文が掲載されていました。その要旨をご紹介します。故人の足跡をたどっていきたいと思います。なお、全文については次のQRコードをご参照ください。

戦前編



戦後編



## 〈都電の曙町停留所で降りて大学へ〉

私は、昭和19年（1944）4月に東洋大学専門部国漢科に入学しました。前年の昭和18年には、徴兵適齢臨時特例が公布され、徴兵年齢が19歳に繰り下げられました。9月には女子挺身隊に25歳未満の未婚女子の動員が決定し、12月に理工系以外の学徒出陣しています。

昭和19年の1月には、疎開命令（軍需産業が地方に疎開）が公布され、6月には大都市の学童集団疎開が決定し、8月から実施されました。

8月には学徒動員令などが公布され、疎開開始後、一部空き家の延焼防止のため、私は解体作業や長野県に田植えの手伝いに駆り出されました。

学校に戻っても講義はありましたが、戸山が原や赤羽から荒川の河川敷に集合して、軍事訓練が続きます。秋の運動会は、飛鳥山公園で行われました。

## 〈六角形の焼夷弾の残骸が残っていた校庭〉

昭和20年3月10日の夜、東京大空襲があり主として軍需工場や軍の施設が狙われていたのが、これ以後は無差別な焼夷弾による「焼き尽くし、殺しつくす」作



に変わってきました。このときの空襲で2万余人もの都民が焼死、家屋の焼失は26万戸にも及んで東京の4割が焦土と化しました。

東洋大学も鉄筋コンクリートの校舎や図書館、大講堂は残っていましたが窓のガラスは焼け落ちて、校内は無残なものでした。

校庭には、六角形の焼夷弾の残骸が突き刺さままになっていました。

### 〈昭和20年5月、援農動員で行き先は北海道〉

青森駅で青函連絡船に乗りますが、津軽海峡では全員が船底のような所に入り、魚雷の攻撃を避けて進むせいか、4時間くらいの行程のはずが6時間かかって函館港に着きます。

伊達紋別(伊達市)で、配属される農家の人が馬車を曳いて迎えに来てくれました。広々とした畑の中の一軒家の馬小屋に3頭の馬がいました。10町歩(約10ヘクタール)の畑を耕作する農家のおかずは、毎日ニシンの塩漬けです。種まきの時期で、広い畑を馬で耕して燕麦(馬の飼料)、麦、豆、馬鈴薯、南瓜、レントゴン(飼料用の玉蜀黍)などの種をまいたり植えたりしました。

8月15日の玉音放送では聞き取れませんでした。翌日の新聞で無条件降伏と大きな活字が目に入って、終戦を迎えます。しかし、そのあとも毎日、農作業に追われていました。9月も終わって、井戸のつるべが手に凍り付くような10月半ばに、やっと東京に帰れるという知らせが届きます。



戦後間もない東洋大学の校舎

て、ようやく上野駅に着き、夜中の待合室には浮浪児があふれていました。

### 〈新制中学・高校の講師をしながら大学へ〉

東洋大学に戻ると、軍服を着た復員軍人が仲間になり、学内の雰囲気が変わってきます。暮らしはといえば、戦争中にも増してインフレ、食糧不足に悩まされ、闇市、鈴なり列車、買い出し、浮浪児などの風景が日常化してきました。

時代背景としては、昭和22年4月に第22回の総選挙が行われ、婦人にも参政権が付与、11月には日本国憲法が公布されます。経済面では、新紙幣への切り替えに合わせ、運賃・郵便・電気・酒・たばこなど4倍以上の値上げになりました。行方不明者を捜す「尋ね人」のラジオ放送、「岸壁の母」は実話が歌になりました。

大学に戻ったものの休講続きで、ほとんど授業も受けなかったのに、昭和22年の3月に卒業しました。

私は、親を説得して文学部国文科に進学することにします。進学後、2年の時に卒業までの124単位の半分以上を取得し、2年次からは国漢科卒業者に与えられた文部省の教員免許証を活用して、新制中学や新制高校の非常勤講師をしていました。

週に2日ぐらい大学に通うアルバイト学生だったのです。25年3月、無事に学士試験に合格し卒業証書ももらい、旧制最後の卒業生となりました。

その後、県立高校の教諭に採用され、山北高校長を最後に退職しました。

それから、校友会の神奈川県支部長や校友会の副会長、学校法人の監事などを務め、今はお寺の仕事や畑に出てミカンや野菜作りに携わっています。(退職後25年が過ぎたときに、この文章が書かれています)

以上、母校が創立125周年、校友会も120周年を迎えるにあたって、85歳になった藤井相談役が自らの学生生活を述べた要旨です。

私は、藤井相談役の足跡をたどりながら、戦時下での学生生活、戦後の学びなおし、講師をしながらのアルバイト学生、教師となり校長で退職、なおかつ住職や事業経営、みかん農家までしていたという人生に、ただただ尊敬の念を覚えました。

1人三役も四役もこなしながら、誇示することもなく、後悔や愚痴を述べるのでもなく、淡々と事実だけを記述している藤井相談役に、私は生前にお会いしておきたかったと痛切に思いました。

しかし、藤井相談役は故人となられてもなお、ご子息を通じてお聞きしたことや、東洋大学校友会120周年記念誌で拝読したことを通じて、私はたくさんの学びがありました。

今後とも、藤井相談役が残された意志や気概を引継ぎ、東洋大学校友会神奈川県支部の持続可能性につなげていきたいと思えます。

(宮崎 S52 中哲)

# 神泉会だより

## 第16回 ヨコハマタウンウォッチング 松の川緑道と 日吉の森の散策

(河野洋 S43 建築)

集合日時 2022年10月1日(土) 14時

集合場所 日吉駅改札口

参加者 17名

天気は快晴、緑道の出発点である日吉地区センターまで、参加者17名は、中央通りを歩きました。この緑道は「松の川」と呼ばれ1988年(S30)頃までは清流が流れ、水田が広がっていたそうです。誰でも安心し、ゆっくり歩ける遊歩道



センター裏が出発



イモリのオブジェ



慶応大学グラウンド横の緑



下田町東公園前案内



鎌倉街道・駒が橋の石



鳥のオブジェ

**横浜の田園調布と慶応の学生の街～日吉の発展～**

1918(T07)	田園都市(株)「田園都市」開発	渋沢栄一
1923(T12)	関東大震災(9月1日)	
1926(T15)	日吉駅開業(丸子多摩川～神奈川開通)	五島慶太
	日吉台の土地79,600㎡分譲	
	慶応義塾大学へ237,600㎡無償提供	
1934(S09)	日吉開校記念と福澤諭吉誕生100年(11月)	福澤諭吉
1937(S12)	横浜市神奈川区に編入	
1939(S14)	横浜市港北区の誕生(4月)	
	相模鉄道社長(S14.06～S16.06)	五島慶太
1944(S19)	日本海軍連合艦隊司令部(3月)	
1945(S20)	アメリカ軍に接收(9月8日)	
1949(S24)	日吉返還式(10月1日)	
1957(S32)	日吉団地(現サンヴァリエ日吉)宅地化	
1983(S58)	松の川緑道(遊歩道)の会	田邊美佐代
1986年～1992年(H04)	に暗渠～松の川緑道工事	緑政局
1999(H11)	松の川緑道完成(3月)	
2008(H20)	市営地下鉄開通'グリーンライン'	
2014(H26)	「日吉の森庭園美術館」開館	田辺光彰
2016(H28)	「田邊家住宅」横浜市歴史的建造物指定	田邊康孝
2023(R05)	相鉄・東急線開業(3月18日)	

参考資料 大倉山精神文化研究所(シリーズわがまち港北)  
開設:1932 大倉邦彦東洋大学学長(1937～1943)



田邊泰孝記念館  
～日吉の歴史を語る古民家～



田辺光彰美術館  
～彫刻家 田辺光彰の紹介～



日吉の森庭園  
～日吉の森遊歩道を歩く～



日吉の森の庭園を散策し、バスで日吉駅まで戻り解散しました。事故もなく、無事、楽しく開催できたことに感謝します。今回、記事を作成するに当たり渋沢栄一、福澤諭吉、大倉邦彦、東洋大学、慶応義塾、都市の変遷、相模鉄道との関連の不思議さを感じました。反省会は、15名で関内の「萩」で行いました。

事務局は、下記です。  
AXIS PLANNING 原崎 久人 (S50 建築)  
231-0048 横浜市中区蓬莱町3-104-4-803  
TEL 050-3707-2620 FAX 045-262-8761

今回は、庭園散策でしたが、記念館・美術館の見学をすれば、丁寧な説明があります。(コロナ対策予約制)

# 黒浜貝塚見学会

令和4年11月12日、私は東洋大学校友会埼玉県支部女性部主催の「黒浜貝塚見学会」に、校友会女性部神奈川県支部から参加し交流を深めてきました。

後日、埼玉県東部支部の橋北克子女性部長から、後掲のようなお手紙が届きましたので、それをご紹介し私の報告に代えさせていただきます。

なお、お手紙文中の(注) 斎藤庸夫先生(経済学 S40卒)は、蓮田出身の大先輩で、在学中から地質、地理、貝塚等の研究を続けて来られた一方で、「国内の貝塚は全部歩いた」という素晴らしい先生でした。

(関根素子 S44 短 観光卒)



## 東洋大学校友会の皆様へ

晩秋の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

先日は黒浜貝塚見学会に近隣支部からも多数ご参加頂きまして、大変に感謝申し上げます。お陰様で、無事故で開催でき更なる友好を深める事が出来た事と思えます。

幸運なことに秋の行楽日和の好天に恵まれ、遙か昔の縄文時代に海なし県の埼玉県に海があった事を出土品や遺跡、縄文の森や海の渚の再現、貝塚の説明により理解され、驚かれた事と思えます。

また、会食会での親睦会では暫くコロナで交流ができなかったこともあり、久しぶりに大変に楽しいひと時を過ごせました。公共のバス移動や縄文の森の散策があり、時間内に最後まで無事故で終われて良かったです。

また今回の開催にあたり、蓮田市の黒浜貝塚の整備に尽力された斎藤庸夫先生(注)を始め教育委員会の小林さん、蓮田市在住の堀内さんには5月から準備に携わって頂き誠にありがとうございました。

最後に東洋大学校友会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

令和4年11月12日

東洋大学校友会埼玉県東部支部

女性部長 橋北克子

# ボクシング部応援

9月20日、私たち会報担当チームは、東洋大学学生支援室に調整していただき、板橋の総合スポーツセンター・ボクシング部を訪ねました。昨年、大学ボクシングで日本一になられた東洋大学ボクシング部三浦数馬監督との面談と部活動を見学しました。

オリンピックで金メダルに輝いた村田諒太さんのように、東洋大学のボクシング部は元気いっぱいです。

栃木国体でのボクシングでは、2人の男子選手が優勝、1人の女子選手が準優勝しています。ウェルター級で優勝したのは、神奈川県代表として出場した田中空(たなかそら)君でした。



ボクシング部の三浦数馬監督から、練習中の田中選手をご紹介いただき、スマホで写真を撮りました。左の写真です。その下が栃木国体で優勝し、東洋大学ボクシング部のツイッターに投稿された優勝記念写真です。



私は「東スポ」とは違う「東洋スポーツ」を定期購読することにしました。初めて届いた1面は東洋大学ボクシング部が大学日本一になった大会の特集でした。金城キャプテンを筆頭に、連戦戦勝した時の記事です。選手の皆さんは、とても爽やかな表情をしており、高齢者OBの私たちは元気をいただいています。



東洋スポーツ 東洋大学ボクシング部ツイッター



東洋スポーツを定期購読しよう。  
ツイッターでボクシング部のフォロワー  
になろう





ボクシング部の沖縄合宿  
2023年3月



いよいよ決勝戦が行われました。

私が応援している東洋大学ボクシング部からは、激闘の末、3人が決勝戦に進みました。1人目、女子フライ級の岸本有彩選手は接戦(3対2)を見事に勝ちきりました。2人目、男子ミニマム級の古藤昇大選手は、スキを見せない安定した戦いで完勝(5対0)しました。

3人目、ミドル級の須永大護選手は、強豪相手に善戦したのですが、残念ながら力及びませんでした。



写真左から、宮崎、三浦数馬監督、原崎、関

ワールドカップで沸騰したサッカーやWBCの応援も良いけれど、ボクシングの応援もいいですよ。

ボクシング部の当面の日程を三浦監督から伺い、2022年11月22日～27日、個人の日本一を決める「全日本ボクシング選手権」が墨田区体育館で行われということで、テレビ以外で初めてボクシング(準決勝戦)を観戦してきました。

「全日本ボクシング選手権」に出場している母校の東洋大学ボクシング部の選手たちを応援してきました。

神奈川県出身のウェルター級・田中空選手の試合は実際に観戦できませんでしたが、YouTubeで彼の攻撃的で安定した試合を見届けました。圧勝でした。重いクラスのボクシングは迫力がありますね。

22日、ウェルター級の準決勝は壮絶な撃ち合いになりました。双方2度のダウンの後(倒れなくてもレフリーが試合を止める)、田中空選手は、猛攻を受けきれず無念の敗戦となりました。

1ラウンドの死闘、田中空選手、お疲れ様でした。そして、3位入賞おめでとう！



画像は、選手がリングに上がる前に同じ東洋大学ボクシング部の仲間に送り出されるシーンです。

東洋大学ボクシング部の監督さん、コーチさん、健闘された選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、たくさんの感動をありがとうございました。

また、2023年の年が明けた1月25(土)～26(日)、今年初めてのボクシングは、YouTubeでの世界選手権代表決定戦を観戦しました。

そして、「田中将吾(3年)選手が世界選手権54kg代表に内定し、ボクシング部OBの秋山佑汰選手(自衛隊体育学校)が世界選手権63.5kgとアジア大会63.5kg代表内定」という試合結果でした。

これからも、私はもちろんのこと、神奈川県支部としてもボクシング部に注目し、いろいろな形で応援していきます。

(宮崎 S52 中哲)

# 琉球人形のまなざし

私は、東洋大学校友会神奈川県支部の理事をしている与儀と申します。名前だけで沖縄出身者と思われるのですが、正直に申しますと熊本県で生まれ育ち、東洋大学で学び、神奈川県で仕事をして親を看取り、現在に至っています。

沖縄と言えば、今では大人気の観光スポットですが、悲惨な歴史を抱えた日本で唯一の地上戦があった悲劇の地でもあるのです。

昨年は沖縄が本土復帰して50年ということもあり、亡き父が大事にしていた物があったことを思い出し、私はその箱を倉庫から取り出し初めて開けてみました。

そこには、「命の恩人」として父への感謝の気持ちを込めた生徒さんたちのお礼の品（琉球人形）が入っていたのです。



50年間、そのまま入っていた琉球人形は私のDNAを激しく揺さぶり、添えられていた書状などを熟読し、父の過酷な人生、私にも語らずに他界した心の支えを見せられた気持ちになりました。

第二次大戦が、まだまだ連戦連勝中と伝えられている中、学童疎開の説得役にさせられた教師の父は、地元の親たちの大反対に合いながら、自分の母や姉から背をおされか、九州への学童疎開を推進役として実行したのです。



しかし、大型船を含め複数の船に乗り疎開先に向かう途中、対馬丸（QRコード参照）をはじめ数隻の船が魚雷に撃沈されました。父の乗船した船は、九州の長崎に上陸し熊本へ向かいました。

そこで手厚く生活の基盤を得たのですが、敗戦を迎え沖縄へ帰還する人たちと、熊本に

残る人たちに分かれたのです。

沖縄の地上戦で、帰還しても身寄りや全滅したり、荒れ果てた故郷を見るのは忍びないという人たちがたくさんいたのです。

父は反対を押し切り、先導してきた責任感から、帰還しない人たちと共に熊本の地に残りました。敗戦前後の沖縄は、まさに「残るも地獄、去るも地獄」であったのです。

学童疎開で生き残った生徒さんたちが、父へ贈った琉球人形にはそんな想いが詰まっていたのですね。そこに父の姿、当時お腹の中に私を宿していた母の姿が浮かんできたのです。

開かずいた箱の中の琉球人形、私が撮った写真に、まるで生きているかのような人形に、私は心の中で合掌したのです。

（与儀喜克 S42 経済学部卒業）



対馬丸

この記事の続編



写真前から3列目  
左から5人目が私の父親です  
写真2列目、右から母と私  
そして3人目が私の祖母です  
熊本県阿蘇市産山 1946年撮影



## 他支部紹介 埼玉県東部支部



当支部の活動状況等について、お話を致します。

当支部は、位置的には埼玉県内を流れる荒川を境に東側となります。当支部は、4地区(北、中、東、南)あり、2022年4月現在、会員数は、20850名です。

当支部は、中里繁夫支部長を中心に各種行事等に取り組んでおります。

本年度の主な行事は、総会・懇親会は、6月26日(日)、大宮駅西口のJACK東天紅大宮店、チャリティゴルフは、10月24日、深谷市の岡部チサンCC、女性の集いは、11月6日(日)、蓮田市の黒浜貝塚の散策、が行われました。

黒浜貝塚には、神奈川支部の関根様とご友人の柳田様にも参加して頂き、感謝しております。

本年、1月3日(火)、神奈川支部の新年会にお招き頂き、交友を深めることが出来ました。

今後ともご指導、宜しくお願い致します。

(名雲啓二 S51年 法)

## 他支部紹介 福島県支部



2022年8月28日(日)、福島市の福島グリーンパレスで、一昨年来2年ぶりとなる「2022年度福島県支部総会・交流会」を開催することができました。

出席者は少数でしたが、豪華で広い会場を準備し、ゆうゆうゆったり、そして、なごやかに、総会および交流会プログラムを進めることができました。

何かと難しい折ではありましたが、無事、成功裏に復活開催できましたのも、ひとえに、校友ならびに関係者の皆様のお力添えのおかげとっております。

神奈川県支部様には日頃より、校友会活動では大変お世話になっております。有難うございます。

また、「支部だより」(NO. 49)を、多数ご恵贈いただき誠に有難うございました。

当支部の県内3地区 方部長に数部送り、今回、8月28日(日)に福島市で開催した「2022年度 福島県支部総会・交流会」で、確保しておいた会報すべてを会場に展示し、配布させていただきました。

酒井俊幸陸上部監督インタビューはもちろん、全ページを興味深く拝読させていただきました。また、当支部校友がよく知っている方が写っていて、「これ欲しい」と言って会報を持ち帰られる姿も見られました。

さすが、内容も構成もすべてが素晴らしく、レベルの高い会報を発行されていることに、深い感銘を受け、刺激をいただきました。

ひとえに、櫻井支部長、本県出身の宮崎事務局長、ならびに神奈川県支部さんのご厚情のおかげであり、あらためて、心より御礼申し上げます。

ほんとうに有難うございました。

今後とも、箱根駅伝応援など、いろいろまた、お世話になりますが、引き続き なにとぞよろしくお願ひ申し上げ、福島県支部の紹介およびお礼とさせていただきます。

(根本安男 S40 応用社会)

支部創立 1947年

- 10周年(1957)
- 20周年(1967)
- 30周年(1977)
- 40周年(1987)
- 50周年(1997) 支部だよりNo.26
- 55周年(2002) 中止(交通事情)
- 60周年(2007) 支部だよりNo.36
- 65周年(2012) 支部だよりNo.40
- 75周年(2022) なし(コロナ)



### かながわ支部だより

東洋大学 支部創立 50周年記念 校友会に参加して

神奈川県支部50周年記念校友会に参加して

野山 隆

支部創立50周年を迎えるにあたって、支部長である野山隆氏が、支部の歴史と現状について語り、今後の展望を述べた。

支部創立50周年を記念し、12月13日(日)に神奈川大学中央体育館において「創立50周年記念大会」を開催した。出席者は、支部長野山隆氏、副支部長丸山正氏、幹事長藤野浩氏、事務局員、校友会参加者、関係者など約200名が参加した。

大会は、野山支部長による「創立50周年を振り返る」と題した報告で始まり、藤野幹事長による「支部の現状と今後の展望」と題した報告が続いた。

野山支部長は、支部創立50周年を迎えるにあたって、支部の歴史と現状について語り、今後の展望を述べた。支部は、創立以来、支部員の間で親睦を深め、交流を促進してきている。今後も、支部員の間で親睦を深め、交流を促進していき、支部の発展に努めていく。

支部創立50周年を記念し、12月13日(日)に神奈川大学中央体育館において「創立50周年記念大会」を開催した。出席者は、支部長野山隆氏、副支部長丸山正氏、幹事長藤野浩氏、事務局員、校友会参加者、関係者など約200名が参加した。

支部創立50周年を記念し、12月13日(日)に神奈川大学中央体育館において「創立50周年記念大会」を開催した。

### 創立80周年記念大会盛大に開催!

支部創立80周年記念大会を開催した。

支部長挨拶

支部長野山隆氏

支部長挨拶

支部員からのメッセージ

支部創立80周年を記念し、支部長野山隆氏が、支部の歴史と現状について語り、今後の展望を述べた。

### “創立 65 周年記念神奈川支部の歩み”

神奈川支部は平成24年度お慶びに創立65周年を迎えました。

#### 【歴代神奈川支部長】

年代目	名前	写真
1代目	藤原 邦太郎	[写真]
2代目	佐藤 栄昭	[写真]
3代目	大島 昌雄	[写真]
4代目	井筒 松男	[写真]
5代目	林 勇	[写真]
6代目	森井 貞良	[写真]
7代目	井上 勲	[写真]
8代目	野山 隆	[写真]
9代目	佐藤 伸夫	[写真]
10代目	高野 正人	[写真]

11代目 野山 隆

12代目 高野 正人

13代目 野山 隆

### 東洋大学

支部創立50周年を記念し、支部長野山隆氏が、支部の歴史と現状について語り、今後の展望を述べた。

支部創立50周年を記念し、支部長野山隆氏が、支部の歴史と現状について語り、今後の展望を述べた。

## 神奈川支部創立70周年記念行事

### ～板倉キャンパス訪問～ 黒田 勝治(S46 国文)



2018年3月12日母校板倉キャンパスを訪問。会員男女19名で参加。群馬県北部の山には残雪が見える、春まだ浅い空気に含まれているキャンパス。バスから降りてあまりにも広大なキャンパスの敷地に驚く。

2018年3月12日母校板倉キャンパスを訪問。会員男女19名で参加。群馬県北部の山には残雪が見える、春まだ浅い空気に含まれているキャンパス。バスから降りてあまりにも広大なキャンパスの敷地に驚く。

東武日光線に新駅「板倉東洋大学駅」ができています。一般道から校舎正門迄一直線の道路が走る。校舎正面には元東洋大学総長塩川正十郎氏の胸像がある。塩川氏は「最も基本的な人と物づくり」教育を提唱していた。この地を選び「生命科学部」「食環境学部」を設置した。

日本人の生命長寿の維持とそれを支えるための健康管理・食品管理・栄養管理・人体の構造と筋力増長・医療・介護・福祉行政・ス

スポーツ環境行政等の科学的学問研究を求めて、独立の学部を板倉キャンパスに設立した。

校舎は基本的には3階建てである。学生の学内行動の動線である教室や廊下等のスペースが広い。学校の体力向上化等を目的の一つとして設計されている。

一方校舎北側には周囲4kmほどの人工湖【この地層は湿地帯】がある。広大な敷地の自然と校舎の調和の取れたキャンパスであった。

学生の運動力強化を証明する充実した施設設備である。体育館には筋トレ設備、耐震に強い構造で設計されている。各球技種目のラインが引かれ多目的活用が出来る。

400m コースのタータンを敷いたグラウンド・サッカー場・テニスコー

ト・フリースペースのグラウンドを備えている。選手専用の宿舎所もある。

女子陸上競技部の監督と選手との交流会を持つことができた。監督からは選手育成の目的指導方針の具体的な説明と、選手からは日常生活と合宿生活について話を聞くことができた。1月3日に選手激励金を永井監督にお渡ししてきた。

施設だけでなく、一般学生や女子選手達の健康管理・栄養管理等の設立目的の学問研究が、学生の日常生活に生かされている説明があった。私たちも学生食堂で昼食をとった。

栄養のバランス・味の良さ・量の豊かさに満腹して板倉キャンパスをあとにした。



# 令和5年友好3団体有志新年会

第99回箱根駅伝 総合10位 シード権確保

大学3大駅伝の最後を飾る箱根駅伝で、東洋大学は往路の1区と2区で大幅に出遅れましたが11位で盛り返し、復路での接戦を繰り広げた末に10位でゴールしました。

来年の第100回記念大会に向け、シード権を獲得したことは大変意義のある結果です。

出場選手、監督、コーチ、スタッフの皆様、そして全国から母校を応援した校友の皆様にご心から敬意を表します。

神奈川県支部は、例年、甬水会様・甬水OB会様との3友好団体共催で沿道応援や応援新年会を開催してきました。

しかし、今回は昨年同様のコロナ感染対策にもとづき、1月2日の小田原会場応援は中止し、1月3日、崎陽軒本店会場で「令和5年3友好団体有志新年会」を開催しました。



甬水会神奈川県支部  
吉田支部長

3友好団体および近隣支部、一般を含め63名の皆様にご参加いただきました。新年会は、扇谷理事の司会進行でスタートし、校歌斉唱のあと、櫻井支部長が開会挨拶を行いました。



甬水OB会神奈川県支部  
鈴木支部長



東洋大学校友会  
小沢副会長

続いて、甬水会の吉田神奈川県支部長、甬水OB会の鈴木神神川支部長から挨拶を受け、小沢東洋大学校友会副会長の挨拶と乾杯の音頭で会食に入りました。

母校のシード権獲得への安堵感や第100回記念大会



神奈川県支部  
関副支部長

に向けた期待感、そして、参加者全員からの自己紹介を受けるなど、歓談と交流を深めた新年会になりました。

お開きの時間となって、関神奈川県副支部長の3本締めで閉会し、最後に集合写真を撮影し散会しました。改めて、ご参加の皆様にご感謝申し上げます。

ありがとうございました。

## <特記事項>

第100回箱根駅伝応援新年会への対応については、次の項目について課題を共有化しました。

- ① コロナ禍前の規模（100名超）で開催することを想定し、担当チームを中心に早めから準備する
- ② 懇親会のあり方について、今年度の反省（コロナ禍における懇親会での注意事項が不徹底）をふまえ、コンプライアンス項目を事前周知する
- ③ 箱根駅伝で母校と一緒に応援することにより、神奈川県内の校友会・甬水会・甬水OB会の交流を持続・深化させる

(宮崎 S52 中哲)



まつたけ

魚料理 松竹

電話 045-311-6590

定休日：日曜日、祝祭日

〒221-0853 横浜市神奈川区鶴屋町2-26-4 第3安田ビルB1

詳しくは、ホットペッパーで検索して下さい



天洲流吟詠会会長  
宗家 寺山天洲

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂3-27-6

会員募集中

電話 03-3414-2718 FAX 03-3414-3043

# 活躍する先輩

## 相模里神楽 (塩川一美 昭和42 法卒)

後列中央が私（塩川）です



### 〈相模里神楽との出会い〉

私の住む愛甲地区には、火伏の神を祀る秋葉大権現の御堂があります(江戸時代の頃から)。戦前戦後、この権現様の縁日に舞台を設け、当時の青年団の人たちが楽器を持ち込み、楽団演奏会やレコードの曲に合わせた踊り(やくざ踊り、マドロスもの等)が行われていました。

しかし、昭和40～50年代の高度成長期、モーレツ時代に中断しました。それが平成の時代になって、昔を懐かしむ世代が、子供が増え昔の祭りを復活させようという機運が盛り上がりました。

当時、子供会や青少年健全育成会の委員の私たち数人と商工振興会の皆さんが中心となり、舞台を設け、お祭りとお催し物を再開することができました。

この時期に、神楽に興味のある者数名が、この舞台で祭り囃子(太鼓)が叩けるようにと、隣の町に住まわれる神楽の家元・相模里神楽垣澤社中に入団し、神楽とお囃子の稽古をしていただけるようになりました。それから、私は社中の一員として今日まで家元ともども神楽舞を続けています。

以前、東洋大学校友会神奈川県支部総会時のイベントとして、会場(崎陽軒本店)で箱根駅伝優勝の祈願と会の発展を祝して、お祝いの舞を奉納したこともございます。

### 〈お手伝いから演者、そして後継者育成〉

振り返れば、平成20年頃までは、どこの地域もお祭りが盛んで、近隣の神社に神楽舞に行ったり、神前で奉納舞に出かけていました。

初めの頃はお手伝いの仕事や、舞台の飾り付けなどをしていました。

それから徐々に、大きな役柄を任せいただけるようになり、お稽古もいろいろな所作を覚えました。おかげさまで、いろいろな役柄の舞を演じるられるようになりました。

入団してから、約30年が早くも過ぎ去っています。その間、いろいろな神社や会場に出かけ、大国魂神社の節分祭、5月のくらやみ祭りや、日本の神楽の公演では静岡、鳥取、秋田にも家元中心に社中の皆さんと一緒に参りました。

さらに、横浜能楽堂の公演にも参加でき、貴重な体験をさせていただきました。

最近ではコロナ感染予防のため、神社やホールでの公演がほとんどできなくなりました。昔から続く伝統芸能は、演じるチャンスが少なくなると、皆さんから忘れ去られてしまいます。

とても残念なことです。

私たちの相模里神楽・垣澤社中の次期4代目家元(今の家元の娘さん)は、神楽舞を新しい方式で発信を続けておられ、将来が期待されています。



写真左から浅野理事、宮崎事務局長  
私(塩川)、河野副支部長

## 〈国際化のとりくみ〉

次に、東洋大学においても推進されている国際化について、私どものとりくみを紹介させていただきます。相模里神楽・垣澤社中では、湘北短期大学のオーストラリア留学生たちへの神楽公演を実施し、その時に、留学生3名ほどを特別ゲストとして出演しております。

12月6日、校友会神奈川県支部会報編集委員会の皆さんが、同大学の公演を見学されました。



相模里神楽・垣澤社中では、これまでも日本の伝統文化を外国の方、オーストラリア留学生さんたちに知っていただくとともに、国際親善の役に立てばと学校と協議し、すでに10年以上続けています。

昔は、神社のお祭りには必ず境内で芸能の催しがありました。

それは、面を被った神楽や農村歌舞伎、芝居、また舞踊などです。伝えられてきた民族芸能の社中や家元

たちは、自分たちがこれまで続けている芸を皆さんに知っていただく、関心を持っていただくことに苦労しています。

普及公演として、小学校や公民館などで、ワークショップにもとりくみ、直接学校に出かけて公演しています。

私たちの里神楽は、仮面をつけてお囃子に合わせて舞をしたり、物語のストーリーを演じます。

演目の内容は、日本書紀や古事記に伝わる神代の昔の出来事を題材にしています。

すなわち、日本の歴史だと思えます。社中の皆さんは、日本古来の文化芸能が、これからも続いていくことを願っています。なお、相模里神楽については、次のサイトをご覧ください。

〈相模里神楽〉

ホームページとQRコード〉

<https://www.sagami-satokagura.com/>



〈相模里神楽・垣澤社中YouTube〉

<https://m.youtube.com/c/sagamisatokagura/>



2023年3月5日

厚木文化会館公演

フィナーレ

東洋大学校友会・雨水会の保養所としてお気軽にいらっしやいませ!

飯山温泉郷・日本郷土玩具の宿

ホテル・アツギ・ミュージアム

手打ちそばと丼セット各種・川ぶぐコース・いのししコース

〒243-0213 厚木市飯山 1006 ☎046-241-4018 扇谷隆雄 (S42 店社)

<http://www.atsugi-museum.com/>

季節料理

なかー



〒220-0005 横浜市西区南幸1-10-18

〈電話〉045-311-2245 アクセス) 横浜駅西口徒歩30秒

## 【編集後記】

会報の編纂は、編集委員だけの頑張りではなく、支部理事全員が関わり合って初めて、支部の団結と拡大が形成されてくることを強く感じました。また、取材を通じて多くの大学関係者のご協力を得られたこと大変感謝しています。そして会報を通じて、卒業生および在学生の後輩が、校友会に入会するよう情報発信に努めます。(浅野)

会報50号の広報委員として、49号が12頁に対し記念号20頁を目標に作成してきました。支部創立(1947年)から75年(2022年)の総会での基調講演も、コロナによる影響で、総会も縮小されました。今後の総会や箱根駅伝の応援も、考え直す必要があると思われます。また、会報発行日が5月1日になり、校友会本部に報告した2022年度収支計算書を加えました。

2023年1月30日(日)から2月7日(金)まで朝日新聞の朝刊の文化欄“語る”<人生の贈りもの>に建築家の原広司氏が14回連載されていました。膨大な数の図面が、東京・湯島の国立近現代建築資料館に寄贈されたそうです。皆様の投稿を期待します。(河野)



今回もMさんにおんぶにだっこで、編集会議に行っている間に最終稿となりました。編集委員のAさんKさんにも感謝です。この春に6年越しで君子蘭の花が咲きました。そう世話もしていないのですが、長い付き合いにしたいです。(原崎)

記念すべき第50号もハラハラドキドキの編集でした。能力の限界ギリギリでしたが、皆様のお力添えによって完了しました。べらぼうなほどの学びがありました。(宮崎)

# 手軽につながろう 東洋大学と校友会

会員の皆さまにおかれましては、スマホやパソコンで母校や校友会の情報を得ていることと存じます。近年、東洋大学校友会でもインターネットの活用を推奨し、積極的に情報発信をしていますので、下記のQRコードからご閲覧ください。

東洋大学  
オフィシャルサイト  
メールマガジン登録



東洋大学  
キラリ交流ネット



Facebook公式アカウント  
東洋大学卒業生ラウンジ



神奈川県支部  
公式 Facebook



ぜひ、お試しください

## 〈おススメ〉

東洋大学校友会神田会長が副学長時代に校友会記念誌に投稿された「学祖に学ぶ」という記事です。



## 支部会報の発行

支部会報の「創刊号～No. 5号、No. 12～No. 15」の会報を捜しています。

お持ちの方はお貸しく下さい。事務局までご連絡ください。

## 会費納入のお願い

校友会は皆様の会費で運営されています。お知り合いに東洋大学校友会未加入の方がおられましたら、ぜひご入会をお勧めください。

## 事務局だより

年会費3,000円 終身会費50,000円  
校友会報(1回)と支部会報(1回)が届きます。

## 〈会員活動の情報提供を〉

活躍されている校友を支部会報で紹介しています。

下記メール宛にお知らせください。皆さまの情報をお待ちしています。

(事務局メール) ken.38zaki@gmail.com

勸全日本空手道連盟連合会  
日本空手道松濤館流

## 近代空手道会

会長：近藤 正拳(S44 社会)

神奈川県厚木市妻田北 3-15-1  
㈱近藤不動産内  
TEL:046(224)0008(総本部事務局)

■近代空手道会(会長：近藤正拳)  
■武道空手 水月館(館長：近藤洋輔)  
■実践空手道 近空会(館長：近藤大輔)  
左：近藤正拳著/近代空手道入門(上・中巻)



構造設計事務所選びは、意匠設計事務所任せにせず  
施主が決めるべきでは 新築設計から耐震診断まで

一級建築士事務所 株式会社 ヨシオカ設計

構造一級建築士 吉岡順一(S47 工建築)

〒253-0082 茅ヶ崎市香川1-1-29-301  
TEL 0467-52-6252 FAX 0467-50-1206  
e-mail: yoshioka@yoshioka-arc.co.jp